

菊池川流域の 百濟文化と鞠智城

2017年 11月 18日(土) 13時~17時 ※聴講無料 どなたでも参加できます

[会場] 歴史公園鞠智城・温故創生館 研修施設 (山鹿市菊鹿町米原 443-1 Tel0968-48-3178)

[主催] 熊本日韓文化交流研究会 韓国・薬城文化研究会 [共催] 歴史公園鞠智城・温故創生館
問合せ先=熊本日韓文化交流研究会事務局 (担当 石原浩 Tel080-3964-3216)

[後援] 菊池川流域市民ネットワーク 肥後考古学会 NPO 法人くまもと文化振興会
菊池ミートガーデン ママトコキッチン

発表 1 「菊池川流域の自然と文化との相関」

富田 克敏 (九州文化財研究所 顧問)

発表 2 「百濟と古代日本の関係—王室関係と交流を中心として—」

洪 性^ホ和 (홍성화、薬城文化研究会会員、建国大学忠州キャンパス教養大学教授)

発表 3 「鞠智城と百濟」

矢野 裕介 (温故創生館 文化財整備交流課長)

特別演奏 箏曲「武寧王」 演奏:松下知代

鞠智城は百濟滅亡後、日本各地に作られた山城のひとつです。日本書紀によると亡命した百濟の高官が建造の指導を行ったとされており、百濟様式の仏像も発掘されています。また鞠智城跡を含めて熊本県北部の菊池川流域は古代から稲作文化が花開いた風土として、今年4月、日本の文化庁から「日本遺産」のひとつに認定されました。今回の研究発表会は鞠智城と百濟の関係や菊池川流域の文化を見つめるものとします。

写真=鞠智城八角鼓楼 (園田文彰)

